

## Injury Alert (傷害速報)類似事例

## No.23 イヤホンのパーツによる食道異物の類似事例 3 (画鋸)

事 例	年齢：9 か月      性別：男      体重：7.0 k g      身長：66.5 c m	
傷害の種類	誤飲	
原因対象物	ダルマ型画鋸	
臨床診断名	異物誤飲	
発 生 状 況	発生年月 日・時刻	2014年    9月    22日    午前12時頃
	発生時の詳 しい様子と 経緯	自宅で遊んでいて、壁に刺さっているダルマ型画鋸がないことに母が気づいた。飲んだかも知れないとのことで近医を受診し、単純 X 線検査にて胃内に画鋸が見られたため当院に搬送された。
治療経過と予後	<p>当院救命センターに搬送され、来院時のバイタル・サインには異常なかった。ミダゾラムとペンタジンにて沈静を行い、内視鏡的に除去を試みた。画鋸は胃内に残存しており、吸引にて針先が内視鏡のフード内に取り込まれたためそのまま取り出した。</p> <p>その後胃内を確認したが、胃幽門部に画鋸によると思われるびらんが見られたが、明らかな穿孔所見は認めなかった。</p> <p>1日経過を見たが、腹痛などは認めず、経口摂取も可能であったため退院とした。</p>	